

稲作情報 No.8

〔6月22日水稲調査結果、大豆培土〕

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、生産振興課、組合員トータルサポートセンター、JA経済連、主要農作物振興協会）
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/2016inasaku.html>

7月上旬までに畦畔の草刈を行いましょ。大麦収穫後の雑草すき込みも行いましょ。

畦畔草刈り実践デー 2回目：7月2日（土）、3日（日）

水稲

【農業試験場のコシヒカリの生育】（6月22日）



圃場の外観

適期田植えコシヒカリ（5/20植え）



稲株の拡大
（茎数平均27.8本/株）



圃場の外観

直播コシヒカリ（5/9播種）



稲株の拡大
（茎数430本/㎡）

- ・カメムシの密度を減らすために水田周辺の除草対策をしっかり行いましょ。
- ・移植のコシヒカリは平年並みの生育。直播は茎数がやや多め。
- ・4月25日植えのハナエチゼンで6月20日に幼穂形成期となっている。
- ・中干しを適切に行い過剰生育を防ぎましょ。

【今後の栽培管理】

品種	今後の管理																							
<p>適期田植え コシヒカリ</p> <p>直播 コシヒカリ</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暗渠排水を利用して速やかな排水を心がける。 ・乳白や胴割粒の発生を防ぐための間断通水を収穫直前まで行えるようにする。 ・中干し期間は幼穂形成期直前までだが、<u>降雨が少ない時は適宜入水して田面のヒビが大きくなりすぎないように注意する。</u> <p>【葉いもち防除】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防粒剤を施用していないところは葉いもちの発病に注意する。 ・圃場を見回り、発病している場合は治療効果のある薬剤を散布する。 ・直播は、移植に比べて稲体が軟弱で細い茎が多くなり、葉いもち等の病虫害が発生しやすいので注意する。 <p>【直播コシヒカリの中期深水管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年茎数が急速に増加する圃場において中期深水管理を実施している圃場では9葉期（7月上旬）まで水深を10cmに保つ。 			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">中干しの程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強い</td> <td>地力のある湿田、生育が旺盛な圃場</td> </tr> <tr> <td>弱い</td> <td>乾田</td> </tr> <tr> <td>間断通水程度</td> <td>地力のない砂質浅耕田</td> </tr> </tbody> </table>			中干しの程度		強い	地力のある湿田、生育が旺盛な圃場	弱い	乾田	間断通水程度	地力のない砂質浅耕田										
中干しの程度																								
強い	地力のある湿田、生育が旺盛な圃場																							
弱い	乾田																							
間断通水程度	地力のない砂質浅耕田																							
<p>移植 ハナエチゼン</p>	<p>【幼穂形成期以降の水管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>間断通水を励行し、根に水分と空気を供給する。土壤水分が不足すると窒素の吸収が抑制され肥効が劣ることがある。</u> ・入水側だけでなく<u>排水側の乾燥程度も確認しながら水管理を行う。</u> <p>【穂肥】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分施体系の施用基準 <table border="1" data-bbox="716 736 1680 876"> <thead> <tr> <th colspan="3">穂肥1回目の目安</th> <th colspan="3">N施肥量(kg/10a)</th> </tr> <tr> <th>幼穂長</th> <th>出穂前</th> <th>葉色</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>(3回目)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～2mm</td> <td>25日</td> <td>4.5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>(1)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・葉色が基準よりも淡い場合は1回目の穂肥量を増やす。例年に比べ株が小さい場合も穂肥量を増やす。 ・2回目は1回目の10日後に2回目の穂肥を施肥する。1回目の穂肥施肥後5～7日経過しても葉色が淡いままのときは、2回目をやや早くする。 ・基肥一括施肥で、幼穂形成期から10日くらい経過しても葉色が淡いままの場合や株が小さい場合は、<u>窒素成分で1kg/10a程度の追肥を行う。</u> <p>【カメムシ防除】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、早生でカメムシ類による斑点米が多い。 ・<u>畦畔草刈りや大麦収穫後の雑草すき込み</u>など、薬剤散布に加えて地域ぐるみで総合的に防除を行う。 						穂肥1回目の目安			N施肥量(kg/10a)			幼穂長	出穂前	葉色	1回目	2回目	(3回目)	1～2mm	25日	4.5	2	2	(1)
穂肥1回目の目安			N施肥量(kg/10a)																					
幼穂長	出穂前	葉色	1回目	2回目	(3回目)																			
1～2mm	25日	4.5	2	2	(1)																			
<p>移植 あきさかり</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中干しを継続する。過剰分げつは倒伏するので注意。 <p>【病害】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圃場を観察し、葉いもち、紋枯病、白葉枯病に注意する。 																							
<p>移植 イクヒカリ</p>	<p>【中干し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼穂形成期まで中干しを継続する。 																							

【病害虫等の発生状況と対策】

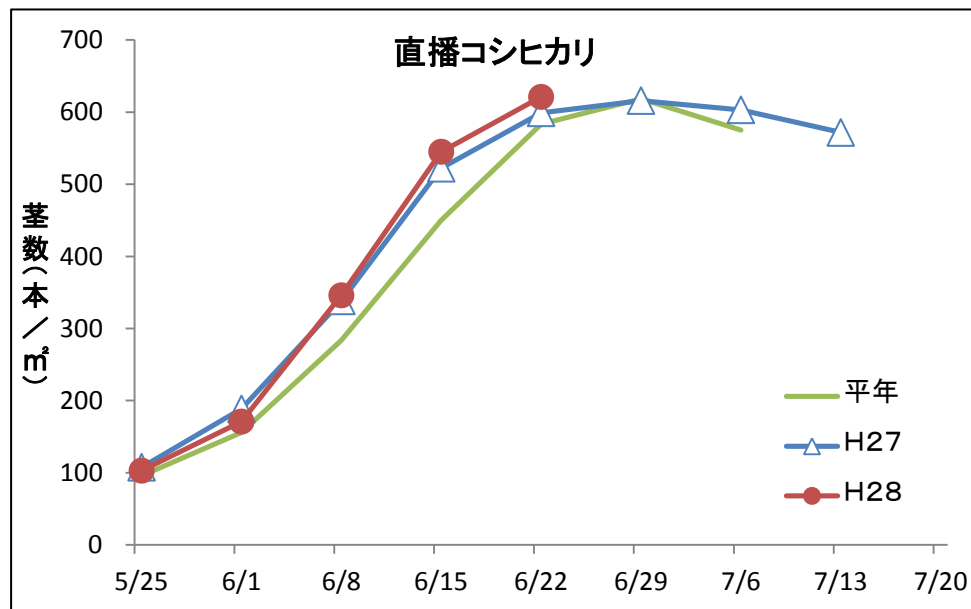
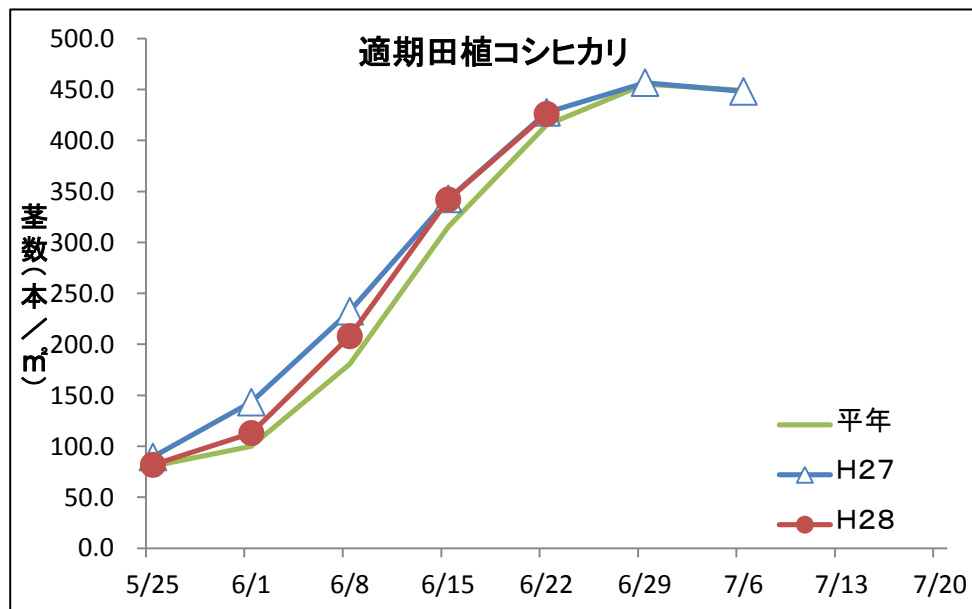
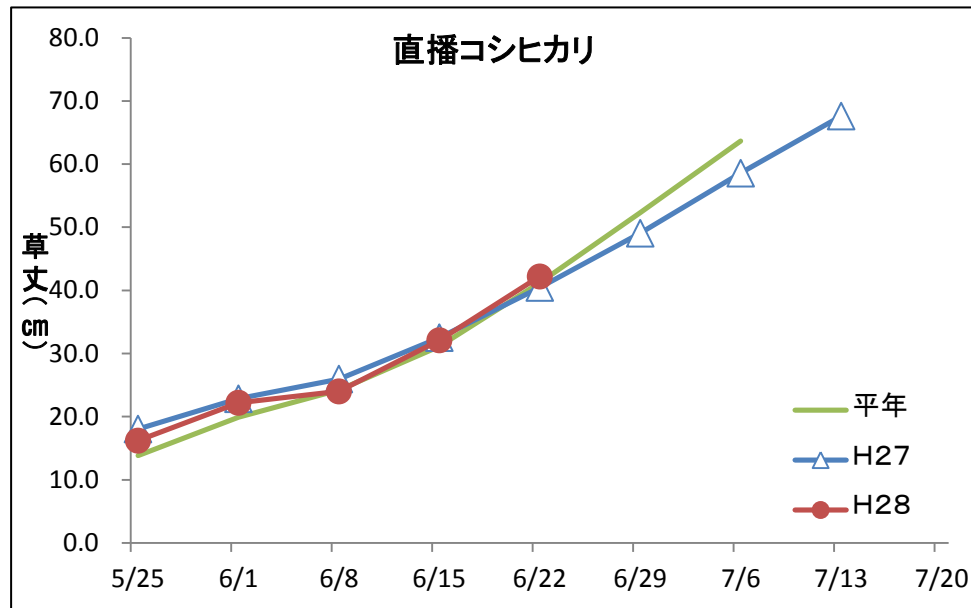
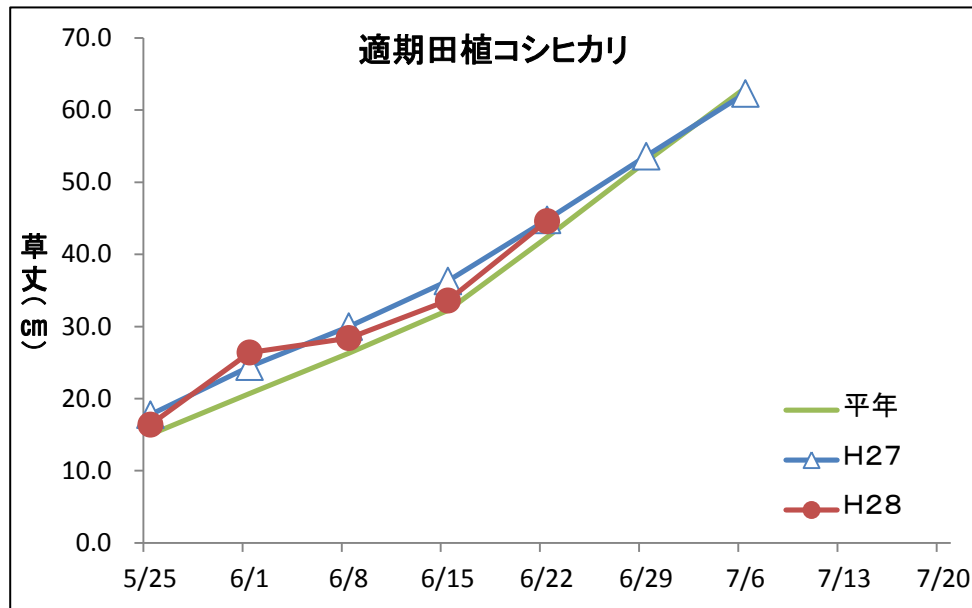
病害虫	発生状況と対策																																																																																									
<p>葉いもち</p>	<p>【発生状況】 BLASTAM（ブラスタム）によるいもち病の感染好適条件出現状況 （●感染好適条件日 ○準好適条件日） ・ 6月20日に勝山、大野、今庄で感染好適条件日が出現している。その7～10日後に葉いもちの広域初発が予想され、粉剤や液剤での防除は広域初発の7日後である。</p> <p>【対策】 ・ 予防粒剤の苗箱施薬や本田散布を行っていない圃場、常発地、適期田植えや直播栽培、生育が旺盛で葉色が濃く葉が垂れている圃場などで特に注意して観察する。 ・ 圃場を見回って、発病を見つけたら治療効果のある薬剤を散布し蔓延を防ぐ。 ・ ケイ酸質資材は稲体を硬くしていもち病菌の侵入を抑制する効果があるといわれている。最高分けつ期頃（今週）に施用する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>6/16</th> <th>6/17</th> <th>6/18</th> <th>6/19</th> <th>6/20</th> <th>6/21</th> <th>6/22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三国</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>春江</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>越廼</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>福井</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>勝山</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>大野</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>今庄</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>敦賀</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>美浜</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>小浜</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	三国	-	-	-	-	-	-	-	春江	-	-	-	-	-	-	-	越廼	-	-	-	-	-	-	-	福井	-	-	-	-	-	-	-	勝山	-	-	-	-	●	-	-	大野	-	-	-	-	●	-	-	今庄	-	-	-	-	●	-	-	敦賀	-	-	-	-	-	-	-	美浜	-	-	-	-	-	-	-	小浜	-	-	-	-	-	-	-
	6/16	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22																																																																																			
三国	-	-	-	-	-	-	-																																																																																			
春江	-	-	-	-	-	-	-																																																																																			
越廼	-	-	-	-	-	-	-																																																																																			
福井	-	-	-	-	-	-	-																																																																																			
勝山	-	-	-	-	●	-	-																																																																																			
大野	-	-	-	-	●	-	-																																																																																			
今庄	-	-	-	-	●	-	-																																																																																			
敦賀	-	-	-	-	-	-	-																																																																																			
美浜	-	-	-	-	-	-	-																																																																																			
小浜	-	-	-	-	-	-	-																																																																																			
<p>紋枯病</p>	<p>【対策】 ・ 紋枯病が発生した圃場では、菌核が残っており次作の伝染源となる。<u>前年に発生があった圃場では、必ず防除を行う。</u> ・ 早生、短稈品種では被害が大きくなりやすいので注意する。</p>																																																																																									
<p>カメムシ類</p>	<p>【発生状況】 ・ 雑草地の他、転作田跡（大麦や牧草の刈取跡）にカスミカメ類の発生が多い。</p> <p>【雑草対策】 ・ カスミカメ類は現在幼虫期であるため、7月上旬までの畦畔除草が効果的である ・ 大麦作跡の雑草はモア等により細断するか、耕耘するなどの雑草対策を行う。 そば作付予定圃場でも排水を考慮してごく浅く耕耘する。 畦畔草刈り実践デー：2回目：7月2日（土）、3日（日）</p>																																																																																									
<p>その他</p>	<p>【除草】 ・ 雑草の取りこぼしがある場合は、発生している草種にあわせ、中期除草剤や後期除草剤を使用する。</p> <p>ヒエ クリンチャー1キロ粒剤（湛水散布）、ヒエクリーン1キロ粒剤（湛水散布）、 ワンスター1キロ粒剤（湛水散布）、クリンチャーEW（落水散布）</p> <p>広葉雑草 バサグラン粒剤およびバサグラン液剤（落水散布）</p> <p>ヒエ+広葉雑草 クリンチャーバスME液剤（落水散布）、ヒエクリーンバサグラン粒剤（ごく浅く湛水して散布）、 ワイドアタックSC（落水散布）</p> <p>クサネム ノミニー液剤（落水散布）</p> <p>・ 除草剤の使用にあたっては、使用基準（使用時期、使用量、成分ごとの使用回数、散布方法、水管理方法等）を必ず守る。</p>																																																																																									

【生育調査結果】

調査日：平成28年6月22日

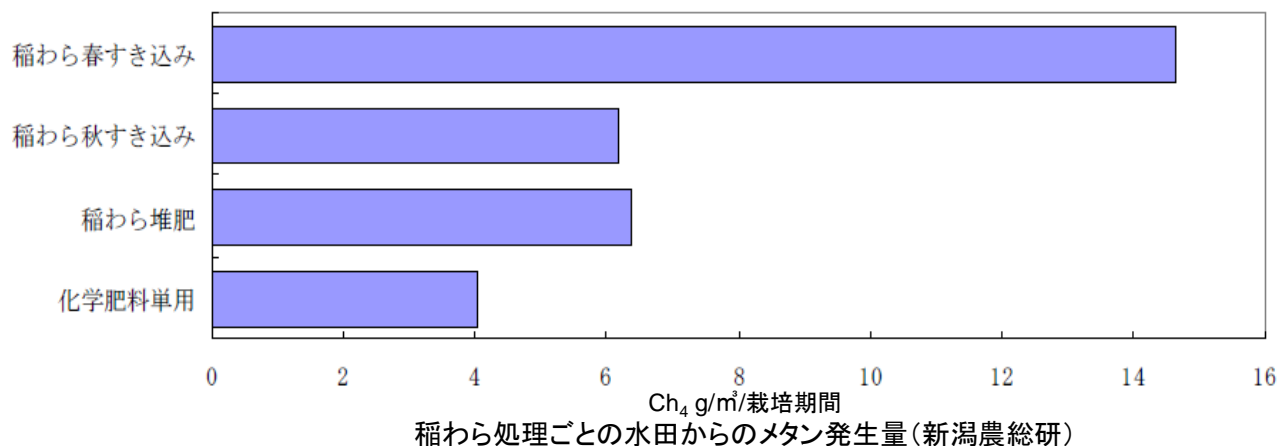
		ハナエチゼン			コシヒカリ								あきさかり		
		農試	坂井農場	現地	農試		坂井農場		現地・慣行		現地・特別栽培		農試	坂井農場	現地
		移植 5/2	移植 5/2	移植 4/29	移植 5/20	直播 5/9	移植 5/16	直播 5/6	移植 5/15	直播 5/4	移植 5/25	直播 5/3	移植 5/2	移植 5/16	移植 5/13
草丈 (cm)	本年	51.1	55.7	50.4	43.3	43.1	46.1	39.8	44.6	42.2	29.9	39.5	44.7	38.0	46.2
	平年	48.7	50.3	45.5	39.5	36.4	44.8	46.9	42.3	41.2	42.8	44.4	45.6	42.9	42.6
茎数 (本/m ²)	本年	745	503	468	578	430	515	670	426	621	304	499	847	440	510
	平年	639	557	527	489	562	453	533	415	584	468	525	705	480	477
葉齢 (枚)	本年	10.4	10.1	9.7	9.2	8.0	8.5	7.8	8.3	8.5	7.2	7.9	10.3	8.3	9.4
	平年	10.1	9.8	9.6	8.8	7.9	8.9	8.7	8.4	8.3	9.2	8.3	10.1	8.8	9.5
葉色 (葉色板)	本年	4.5	4.4	4.5	4.6	4.3	4.4	4.2	4.3	4.4	4.5	4.4	4.8	4.5	4.7
	平年	4.5	4.7	4.6	4.5	4.2	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.1	4.9	4.9	4.7
幼穂 形成期	本年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平年	6/28	6/27	6/30	7/13	7/16	7/10	7/16	7/12	7/15	7/13	7/12	7/10	7/14	7/11

【コシヒカリ生育経過】



初期生育が悪かった圃場でガスが発生していませんか

- 苗質はよかった、施肥量は計算どおり、なのに初期生育が悪かった。そのような圃場の中を歩いた時ガスがブクブクと出てきませんか。
- わらを遅くすき込むと、稲わらが十分腐熟しないため、田植え後、わら分解に施肥窒素が使われ、稲の初期生育が悪くなります。
- また、有機酸や根腐れの要因となる硫化水素やメタンガスも発生しやすくなり、適正な分けつの確保が困難となり、後できとなり節間が伸びやすく倒伏の原因にもなります。
- 稲わらは収穫後早めにすき込んでわらの腐熟を促進させましょう。



稲わらを秋にすき込むことにより、分けつ期の土壌の異常還元が抑えられ、地球温暖化ガスであるメタンガスや根腐れの原因である硫化水素などの発生を抑制する。

秋の田起こしでおいしい米づくりを！
～早めに稲わらをすき込んでわらの腐熟を促進しましょう～

作業

作業の注意点

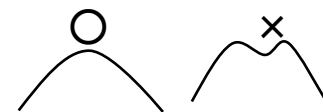
培土・中耕

【培土・中耕の効果】

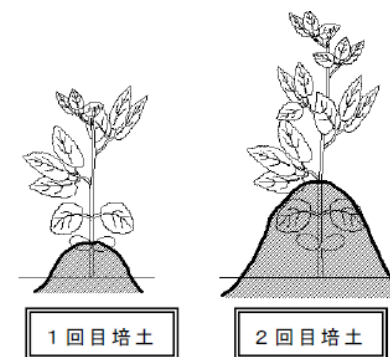
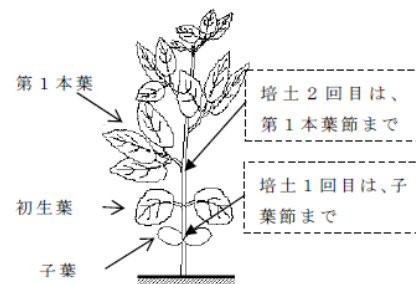
- ①畝立てをして排水性を向上する。株元が窪んでいると水が溜まるため山形に培土する。
- ②培土後地中に入った茎から新根（不定根）が出る。この根の発生時期は播種後20～35日にあたる6月下旬から7月中旬であり、7月中旬までに培土を終える。
土塊が大きいと根が発生しないので雨上がりなど土壌水分が高い時は作業しない。
- ③播種後の除草剤の効果は約1か月でなくなるので中耕で除草する。
- ④通気性がよく湿った土が株元を覆うことで根の伸長と根粒の着床を促す。
- ⑤株元が支持されて倒伏を軽減する。

【培土・中耕の時期と程度】

- ・2回実施を基本とする。梅雨時期の作業となり実施のタイミングが難しいが、大豆の生育に対して作業時期が遅れないように留意する。



	時期	程度
1回目	6月下旬 本葉3～4葉期	子葉が隠れる程度
2回目	7月上旬 本葉5～6葉期	本葉第1葉節まで



- ・圃場周りの枕地部分で培土を行うと額縁明渠へのスムーズな排水を妨げる。培土後に枕地の畝を数箇所切って排水性を高める。高温乾燥期の畝間かん水の実施にも役立つ。
- ・排水不良や播種期が遅く生育量が小さい場合は、培土時に窒素成分で5kg/10a程度の追肥をする。



作業	作業の注意点			
除草	【生育期に使用できる除草剤】			
	使用時期		除草剤名	10a当たり使用量
	雑草生育期 茎葉処理イネ科雑草3～5葉期	収穫60日前まで	ワンサイドP乳剤	雑草茎葉散布 75～100ml
	雑草生育期 イネ科雑草3～8葉期	収穫30日前まで	ナブ乳剤	雑草茎葉散布 150～200ml(イネ科雑草3～5葉期)
				雑草茎葉散布 200ml(イネ科雑草6～8葉期)
	雑草生育期 イネ科雑草3～10葉期	収穫30日前まで	ポルトフロアブル	雑草茎葉散布 200～300ml
	雑草生育初期～6葉期(イネ科を除く) (大豆2葉期～開花前まで)	収穫45日前まで	大豆バサグラン液剤	雑草茎葉散布 100～150ml
	大豆本葉3葉期以降雑草生育期 雑草生育期(雑草の草丈15cm以下)	収穫30日前まで	ロロックス	雑草茎葉兼土壌散布 (畝間・株間処理) 100～200g
	雑草生育期 播種後出芽前、畝間処理	収穫28日前まで	バスタ液剤	雑草茎葉散布 300～500ml
	雑草生育期 畝間処理	収穫28日前まで	ザクサ液剤	雑草茎葉散布 300～500ml
雑草生育期 畝間処理(雑草の草丈30cm以下)	収穫3日前まで	プリグロックスL	雑草茎葉散布 600～1000ml	
雑草生育期 落葉終期～	収穫14日前まで	ラウンドアップマックス ロード	雑草茎葉散布 500ml	
<ul style="list-style-type: none"> ・大豆バサグラン液剤は、あやこがねに薬害が強く出ることがあるため使用を避ける。 ・株間処理剤(雑草茎葉および土壌散布)として、ロロックスが使用可能。 ・狭畦密植無培土栽培は大豆が条間を早く覆って抑草するのがねらいだが、排水不良等により大豆の初期生育が不足すると雑草が多発するので、除草剤を適切に使用する。 ・除草剤の使用にあたっては、使用基準(使用時期、使用量、成分ごとの使用回数、散布方法、水管理方法等)を必ず守る。 				

ふくいアグリネット「稲作情報システム」のご案内

ふくいアグリネット <http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/>
 稲作情報システム http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/gizyutsu/ine_sys/index.html

①ふくいアグリネット・トップ→ 農業技術情報 → 稲作情報システム

②年度、情報(生育状況、収量・品質)、地域、地点を選択

③生育状況、収量、品質のグラフを表示

福井県農業情報ポータルサイト「ふくいアグリネット」において、県内各地(約40地点)の水稻の生育状況や収量・品質の調査データを「稲作情報システム」で掲載しています。現在の生育状況はもちろん、過去のデータ(生育、収量・品質)を調べることができます。ぜひご利用ください。

6月23日 11時 福井県の週間天気予報

【天気予報】

日付	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木
福井県	曇のち雨	曇時々雨	曇時々晴	曇時々晴	曇	曇一時雨	曇
降水確率(%)	0/10/60/80	70	30	30	40	50	40
信頼度	/	/	B	A	C	C	C
福井	最高(°C)	29 (25~30)	28 (25~30)	29 (27~31)	29 (26~32)	29 (27~32)	30 (27~33)
	最低(°C)	20 (20~23)	22 (18~21)	20 (18~21)	19 (18~21)	20 (19~22)	21 (20~23)

【メールマガジン e農メール】

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。
http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html



気象庁 気象統計情報(各種観測データ)
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

携帯電話ではQRコードで簡単アクセス